

～院長コラム～

『麻黄湯という漢方薬』

麻黄湯(まおうとう)は小児科のカゼの治療には欠かせない漢方薬です。インフルエンザ A,B 型、咽頭炎、扁桃炎など急性の発熱性疾患のほとんどの初期に使えます。

熱が出た、まだ汗をかいていない、元気はある、なんて時にはもってこいです。

ココア、はちみつ、ヨーグルト、ジャム、お菓ゼリーなどに混ぜて、あるいは、そのまま、3 時間おきに飲みます。

早いと 1, 2 回内服しただけで、汗をかいて(おしっこが出て)解熱することがあります。

せいぜい 6-9 回飲むうちに、カラダに変化が起こります。

私は「6 回勝負！」と言って、夕方受診されたお子さんには寝るまでに 2 時間おきに 2, 3 回、翌朝起きて 38℃以上あれば、3 時間おきに飲んで！と指導しています。

翌朝、全く汗もかかず、おしっこも出ない時は必ず受診していただいて症状の確認、内服の見直しをしています。

気をつけなければいけないことを、麻黄湯でスコと熱が下がることを知っているお母さん方に言っておきます。

一旦解熱したので麻黄湯内服を中止したが、夕方、夜間から再び発熱があった時に麻黄湯は再開しないことです。

病気のステージが次に進行了ので、対応する内服薬も次のステージ用に変更しなければいけません。

だいたい、柴胡(さいこ)剤と言われるもの、小柴胡湯(しょうさいこうとう)や柴胡桂枝湯(さいこけいしとう)です。

熱が上がりがりしたら、柴胡剤で少しガマンの治療が必要です。

こういう時は相手がしつこい時が多いからです。

発熱して汗を少しかいていた時は、麻黄湯と桂枝湯(けいしとう)を半量ずつ混ぜて飲みます(桂麻各半湯:けいまかくはんとう)。

「子ども健康ネットブログ」より



なかしま子どもネット QRコード
※名前を入力して送信して下さい



子ども健康ネットブログ
QRコード

なかしま子どもクリニック



通信

2011年5月号

なかしま子どもクリニック 瑞穂市十九条(パロー北)

ホームページ www.n-kodomo.com

診療時間		月	火	水	木	金	土	日
午前	8:30~12:00	○	○	○	○	○	○	
午後	14:00~15:00		△		★	△		
	16:00~18:30	○	○			○		

★:漢方外来 14:00~17:30 受付

△:乳幼児健診及び予防接種



診療予約

058-327-4891

お問い合わせ

058-327-3100